

参考：保護者アンケート結果【2学期の結果です。ご覧ください】

<全般考察>

全体的には、設問1から設問15までの設問において、A評価及びB評価の肯定的評価について80%以上の評価をいただきました項目は13項目であり、7月と同様の結果となりました。80%を割った、設問5「学校は、子どもについての悩みや心配事を相談しやすい」、設問6「学校は、子どもについての悩みや心配事に対応してくれる」の2項目についても、肯定的評価は79%以上であるので、全体的には良好な結果となっています。

右の表は、各設問項目について、
A：4点、B：3点、C：2点、D：1点と点数化し、その点数の総和を人数で割った値を平均としている表です。平均は2.5ですから、どの設問も平均が3（肯定的評価の値）以上であり、平均3.3以上の高い平均を示している設問は15項目のうち、10項目に上ることがわかります。

また、7月の第1回保護者アンケートと比較してみると、肯定的評価の割合が上がったのは7項目、肯定的評価の割合が下がったのが3項目で、設問11『子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣が身につけている』が約2ポイント、設問12「子どもは、地域の中で、ルールを守っている」が約4ポイント、設問14「子どもは、家庭や地域の中で、あいさつをしている」が約1.2ポイント下がっています。他の6項目はだいたい同程度の結果となりました。

今回は、PTA役員51名中49名（96.1%）の方々から御協力をいただきました。誠に感謝申し上げます。今後とも、本校教育活動についてより良い方向に向かっていけますよう、御支援・御協力の程よろしくお願いいたします。

	A	B	C	D	評価合計	回答人数	平均
1	23	24	2	0	168	49	3.4
2	30	18	1	0	176	49	3.6
3	19	29	1	0	165	49	3.4
4	16	26	7	0	156	49	3.2
5	12	27	10	0	149	49	3.0
6	19	20	10	0	156	49	3.2
7	20	27	0	1	162	48	3.4
8	25	23	1	0	171	49	3.5
9	26	20	2	1	169	49	3.4
10	18	28	3	0	162	49	3.3
11	20	23	4	1	158	48	3.3
12	18	26	5	0	160	49	3.3
13	22	22	5	0	164	49	3.3
14	18	22	8	1	155	49	3.2
15	14	29	6	0	155	49	3.2

<学校教育・学校経営・学校運営について（設問1～8）>

考察1

第2回保護者アンケートは、設問1から設問8については、8項目中5項目が95%以上の肯定的評価をいただきました。また、設問5「学校は、子どもについての悩みや心配事を相談しやすい」、設問6「学校は、子どもについての悩みや心配事に適切に対応してくれる」は、7月に行った第1回保護者アンケートの結果と比較し肯定的評価の割合は同程度ではありましたが、より「A＝そう思う」の割合が高くなっていることがわかりました。

このことは職員の地道な教育活動への、保護者皆様方の御理解と御支援の成果であり、大変感謝申し上げます。

考察2

保護者アンケート記述欄に「連絡の仕方は見直しが必要だと思います。一般企業にお勤めの方にアドバイスをいただければより良い方法ができると思います。」という御意見がございました。

本校におきましては、これまで運動会や地域ふれあい道徳公開については、あらかじめ第一次案内を先に配付し、1週間くらい前に第二次案内を配布するとともに、各自治会長様をお願いをし、地区の回覧板にて地域の方への御案内を致しております。また、家庭訪問や個別懇談などについても、第一次案内、第二次案内というように2回に分けて御案内を差し上げております。さらに、PTA役員会や保護者に来校をお願いするような場合は約3週間前に、台風や積雪等天候にかかわるものやインフルエンザ蔓延による授業変更などは状況を判断しながらその都度なるべく早く御連絡差し上げられるよう努力しておるところです。また、年間の行事予定につきましては、4月のPTA総会の資料にありますので、それを参照していただければ日程につきましてはおおよそわかりますので、ご活用をしていただければ幸いです。

これからもきめ細かく教育活動を粛々と行い、常に保護者の方々と連携・協力、また御支援を得ながら、学校・家庭・地域が「チーム大明」として、子どもたちの成長に力を尽くしていきたいと考えています。

<子どもの様子について（設問9～15）>

考察3

設問10～14については、子ども達に道徳性や社会性が身についているかどうかを尋ねた質問であり、設問15は家庭と学校との連携を尋ねた質問です。

設問11『子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣が身についている』は第1回目に比べ約2ポイント下げ、若干ではありますが90%を割ってしまいました。全国学力・学習状況調査のアンケート調査でも、基本的生活習慣の身につけている児童と学力の間に相関があることが指摘されています。冬休みや年末・年始で生活リズムを崩しがちになる時期ですが、お正月を過ぎたら、規則正しい生活を習慣化するなど、メリハリのある生活を願いたいと思います。

考察4

設問12「子どもは、地域の中で、ルールを守っている」は、第1回目、2回目ともに肯定的評価が90%を超えていますが、「ヘルメットを着用して自転車に乗っている子どもが少なすぎて危険を感じます」、「夕方おそくなるまで、子どもだけでスーパーなどにいたり、自転車でうろうろしている子どもが多い」などの御意見もありました。11月からは学校でも最終下校時刻（学年により変わりますが）を4時15分としています。暗くなるのも早い時期です。子どもの安全確保のため自転車のヘルメットや、乗り方、明るいうちに家に帰っているなど、御家庭でも御指導をお願いしたいと思います。

考察5

設問14「子どもは家庭や地域の中であいさつをしている」は、社会生活をスムーズに行っていくうえでの慣習や人間関係を円滑にするためのコミュニケーションの力について尋ねているものですが、これらの内容は大人社会の中でも求められるものです。

7月の第1回アンケートでは93.5%の肯定的評価でしたが、今回は81.6%と下がってしまいました。一方で、「大明小の子たちは、行事の際、親が来るとしっかりあいさつをしてくれて、とても気持ちがいいです。高学年になるにつれてできているので、素晴らしいと思います」というご意見もいただきました。児童会でもあいさつ運動を継続して進めています。

気持ちの良いあいさつは、お互いの心を温かくする大切なコミュニケーションです。お互い気持ちの良いあいさつができるようにしていきたいと思います。児童自らが爽やかなあいさつができるよう、御家庭とも連携しながら、気持ちが行動に出せるよう指導をしていきたいと思います。